



付録

子どもの受動喫煙への曝露を減らすための法的および教育的提言

組織	法律	教育
米國小児科学会 小児科医に対する提言 (78)		小児科医は <ul style="list-style-type: none"> ・ 喫煙している家族が誰かを特定するために日常的に子どもを検査する ・ 両親に受動喫煙の健康被害について知らせる ・ 子どもの喫煙への曝露をなくすための手段をとるよう両親にアドバイスする ・ 両親が禁煙するのを助けるために情報を提供する
米国疾病予防管理センター 受動喫煙からの家庭内保護についての意識を向上させるための教材 (79)		教育キャンペーンにより次の点が理解できる <ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭や車を禁煙にする ・ 子どもに受動喫煙の危険性を話す ・ 子どもに受動喫煙を避けるよう教育する ・ 禁煙条例を制定している地域のレストランおよび事業を支持する
環境保護局 家庭および車を禁煙にするプログラム (66)		教育キャンペーン人々に次の点を納得させる <ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭および車を禁煙にする ・ 家族、友人、または来訪者に家の中での喫煙を許可しない ・ 喫煙する場合は、外で喫煙する ・ 医師に相談し禁煙の助言を求める
Tobacco Free * Japan : ニッポンの「たばこ政策」への提言 (80)		<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭や自家用車の環境を禁煙とするための教育キャンペーン ・ 医療関係団体は、特に害を受けやすいグループ（喘息児など）での受動喫煙の危険性を会員に教育する。
世界保健機関（WHO） 受動喫煙への曝露からの保護に関する政策提言 (77)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人が家庭で自発的にスモークフリーポリシーを実行する可能性を高めるために、職場を禁煙にする法律を制定する ・ 法律は明瞭で実行可能なものでなければならない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人々に受動喫煙の危険性を知らせるためにたばこのパッケージに健康警告表示を掲示する ・ 家庭での受動喫煙曝露の影響を喫煙者に知らせ、家庭を禁煙にするための教育キャンペーンを実施する
世界保健機関 / タバコフリーイニシアティブ 環境たばこ煙（ETS）および子どもの健康に関する国際諮問会議 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもがよくいく場所、学校、保育施設、および医療施設での喫煙を禁止する法律を制定する ・ 妊娠女性を守るために職場での喫煙制限を実行させる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 喫煙者にたばこの煙が子どもや他人の健康を害することを知らせるために、たばこのパッケージに健康警告表示を掲示する ・ 喫煙者に受動喫煙の危険性を知らせるために、教育キャンペーンを実施する：マスメディアを利用し、コミュニケーションサイエンスに基づくキャンペーンを実施する ・ 医療従事者は、子どもに対してはたばこの煙を避けることについて、成人に対してはたばこの煙のない空気にすることの重要性について話し合う ・ 妊娠女性が禁煙するのを補助するための介入を実行する ・ 健康に及ぼす受動喫煙の影響に関する情報を医療従事者のトレーニングに加える